

自然保護委員会 10月事業報告（歴史山歩）

赤穂の三重山とその頂上の城跡に建つ展望台に行ってきましたので、報告します。

- (1) 日時 令和6年10月13日(日)9時40分～13時10分
- (2) 参加者 7名（スタッフを含む）
- (3) コース JR有年駅～山王神社～かぶ一んうね～三重山頂上展望台～駿行寺～山王神社～JR有年駅
- (4) 内容 この山は199mと低いですが有年駅から南方向を見ると三つの山が重なった様に見える事で命名された様で下界からでも頂上の展望台が見えます。

暑い位の快晴の中、歩き始め山王神社を過ぎてから「ふれあいの森」の標識を右折し、カブトムシを飼育している「かぶ一んうね」を経て赤テープの急登を登り詰めます。

暗い尾根筋に出て右折し5分位登り詰めると三重山頂上です。

ここには赤松一族の小田氏の山城があったとの事で城跡に三層の展望台があります。藤崎先生から、この岩石は堆積岩との説明を受けました。

眺望を堪能した後に、来た尾根筋を南方向に辿り駿行寺まで進みます。

昼食後、元の計画ではさらに南方向に進み千種川沿いの赤穂鉄道廃線跡を辿り有年駅に戻る予定でしたが、諸般の事情からそのまま有年駅に戻りました。廃線歩きを期待していた方には申しわけありませんでした。

（文責 日野幸次郎）

huzisa



三重山城跡展望台